

報道関係各位

“温活”で寒さ知らず。漢方の知恵とサイエンスの融合、地産地消の“温活茶”
再春館製薬所と「南阿蘇 TEA HOUSE」の初コラボレーション
「温ぷく茶」を数量限定販売

基礎化粧品「ドモホルンリンクル」を製造・販売する株式会社再春館製薬所（本社：熊本県上益城郡益城町、代表取締役CEO：西川正明、以下再春館製薬所）は、株式会社クマモト敬和（本社：熊本県熊本市、代表取締役社長：宮野敬之）との初コラボレーション商品を開発しました。株式会社クマモト敬和は、2023年10月13日（金）より、数量限定のオリジナルブレンド茶「温ぷく茶」として、運営する「南阿蘇 TEA HOUSE」各店舗などで販売いたします。

熊本にルーツを持ち、理念を同じくする両社で開発した「温ぷく茶」は、漢方の製薬会社「再春館製薬所」の薬膳の知恵を活かした地元素材を選出・活用。その他素材もすべて国産・農薬不使用素材の積極的活用という安心感も。さらには同社が化粧品事業で培ってきたサイエンス技術を応用し、秋冬の“温活”を目的とした調合・設計になっています。



■アンチエイジングに関連が深い「腎（じん）」と、「黒い食材」に着目

「温ぷく茶」は、再春館製薬所が得意とする「季節ごとに生じる悩みを乗り切るための漢方の知恵」と「製薬会社ならではのサイエンス」の掛け合わせで生まれた、秋冬の寒さに立ち向かえる“温活”茶。その名前には、冷えた身体が温まって回“復”し、体力・気力が底上げされるとともに、飲むと“福”が訪れるような、ほっこり幸せな気持ちになれるようにという願いが込められています。

漢方の“五行学説”をもとに体系化した「薬膳」の考え方で採用した素材をベースにしつつ、漢方の知恵に学んだひと手間、ドモホルンリンクルの最新研究でたどり着いた原料、スキンケア技術から生まれた「うるおいの発想」までも応用した「温ぷく茶」。一例として、主要素材のひとつ「生姜（ショウガ）」にも漢方の“修治”という技法からヒントを得た加工を施し、加熱して乾燥させることで、生の状態では強い殺菌作用と辛味を持つ成分を変化させ、一般的な作用として有名な「温活」成分に変えるという形で、生姜の特性を引き出しています。さらには、アンチエイジングと関連の深い器官で、美や若々しさをつかさどる、漢方でいう“五臓”の

ひとつ「腎（じん）」と、相性が良いとされる「黒い食材」にも着目。黒大豆などの素材に加え、独自の加工方法で生姜も黒く加工し、そのポテンシャルを最大化しました。“五臓”も不調に陥りやすい、身体が冷える時季に温かなお茶が消化器官を直接温め、内側からもじっくり温めることで、エネルギーと気力を養います。

■コラボレーションの背景

再春館製薬所が掲げる、「人間は自然の一部であり、人間と自然は不可分」という漢方理念に基づく製品づくりを行い、“つくりたい世界”として、「自然とつながり、人につながる明日を」というビジョン。また、漢方の製薬会社だからこそ、自然界の強靱な生命力を知り尽くし、さらにその力をサイエンスと掛け合わせ、得られる効果実感は「自分らしく生きる」ことにつながっていく――再春館製薬所が目指すのは、そんな「自然・人・社会の循環」の形です。

サステナビリティ活動や地元の雇用創出への積極的な取り組みなどを行う「南阿蘇 TEA HOUSE」の理念と、再春館製薬所が目指す「自然、人とのつながり」という考え方が軌を一にすることで実現した今回のコラボレーション。両社が拠点を構える熊本県産の素材を多く採用しながら、その試みは「地元素材を使ったブレンド茶の開発」という枠にとどまらず、両社の理念の有言実行として、アップサイクル（創造的再利用）の素材なども積極的に採用しています。

南阿蘇 TEA HOUSE

「南阿蘇 TEA HOUSE」は、熊本県北部・南阿蘇村生まれのハーブティー専門店。南阿蘇産ハーブを中心に、世界中から厳選したハーブ・野草の原料を取り扱い、お茶やハーブティーのオリジナル商品を作るティーカンパニーです。約2.5ヘクタールにも及ぶ、広大な農園で作られる同ブランドのハーブは、海外産のハーブに比べて香り高く、濃厚な味わいが特徴です。全国に多くのファンを持ち、オンライン販売以外でも、九州中心の6店舗のほか、東京・日本橋にも店舗を構えます。

公式サイト： <https://kumamotokeiwa.com/>



■「温ぶく茶」商品詳細



再春館製薬所 監修 黒大豆と生姜と晩白柚とサワヒヨドリのあったかブレンド 温ぶく茶 [数量限定品]

容量：2 g×14包

価格：2,376円（税込）

原材料：黒大豆（国産）、はま茶、生姜、たんぽぽ茶、はぶ茶、サワヒヨドリ、晩白柚（皮）

*ノンカフェイン

発売元：南阿蘇 TEA HOUSE（株式会社 クマモト敬和）

取扱：南阿蘇 TEA HOUSE COREDO 室町テラス店（東京都）などの南阿蘇 TEA HOUSE各店舗、南阿蘇 TEA HOUSEオンラインサイト

美味しい飲み方：ティーバッグを1包入れ、お湯（98~100℃）を約150ml注ぎ、蓋をして3~5分蒸らします。

特に女性におすすめしたいのが、素材本来の甘さが引き立って飲みやすさもアップする、ティースプーン1~2杯分の蜂蜜を入れて飲むアレンジ方法。ノンカフェインなので、温まってぐっすり眠りたい夜など、お休み前にもぴったりです。

■主要素材



サワヒヨドリ（野馬追（やばつい））：タンパク質研究のプロフェッショナルという側面も持つ再春館製薬所。善玉タンパク質「HSP」の研究過程で出合った「サワヒヨドリ」は、「野馬追（やばつい）」という原料名でドモホルンリンクルの主力商品[基本4点]を中心とする製品に配合される、強いこだわりをもつ効果原料です。鮮度にこだわり、南阿蘇村の農園で化学肥料や農薬を一切使用せずに栽培されたものを採用しました。



晩白柚（ばんぺいゆ）：大きさ直径20cm、重さ2kgにもなる世界最大級の熊本名産の柑橘で、「ドモホルンリンクル」に配合される独自原料。色・形などの面で、市場に出るための一定の条件を満たさない成熟品の「規格外品」がジュースとして加工される工場で、棄てられてしまう「皮」に着目。実の中の白いワタ上の「中果皮」には、美容成分や繊維、ビタミンが多く含まれ、栄養価も非常に高い部位であることが判明し、このワタ状の部位のみを素材として使用しています。

■「温ぶく茶」詳細・販売ページ：

<https://kumamotokeiwa.com/topics/onpukucha/>

本件に関するお問い合わせ

株式会社 再春館製薬所 本社：熊本県上益城郡益城町寺中1363-1

高輪（東京）オフィス ブランドコミュニケーション部 藤田亜希 TEL：080-4113-2861(担当直通)

MAIL：a.fujita@saishunkan.co.jp

TEL：096-289-4444（代表） FAX：096-289-6000 WEB：<https://www.saishunkan.co.jp/>